

## **5 -i.参考資料：**

---

**用語の整理**

## 1) 世界都市、国際都市

国際都市（英語で Global City）の定義は一般的に「多くの外国人が往来したり居住したりする世界的な大都市」（広辞苑）とされる。

OECD 経済開発協力機構は「グローバル経済における都市の競争力」という報告書を2006年に出版している。報告書の中では世界の主要都市について一人当たりの GDP に基き順位を付けているがこれは経済力に主眼をおいた国際都市力の考え方の一つである。

次に、都市論における専門的な用語として世界都市がある。

世界都市の定義は一般的に次のようなものである。

「国家の枠組みを超えてグローバル経済をコントロールする脱国家都市」また、Wikipedia では、世界都市の条件として 12 の項目が挙げられている。

### ■世界都市の条件

- ①都市名の国際的な知名度が高い。
- ②世界規模での国際貢献がある。例：ニューヨークには国連本部があり、またそのため各国の総領事館や代表部の数が他の都市と比べて桁違いに多い。
- ③通常数百万人規模の人口がある大都市であり、かつさらに大きな大都市圏の要として機能している場合が多い。
- ④複数の航空会社がハブ空港としている大規模な国際空港がある。
- ⑤公共交通機関や高速道路網が整備され、多種多様な交通手段をもつ。
- ⑥「チャイナタウン」や「リトルイタリー」など、都市の内部に複数の移民コミュニティーや異文化圏が存在することが多い。
- ⑦大手の金融証券関連企業の本社や証券取引所、大規模企業グループの主体となる企業など、世界経済に影響を及ぼす組織の中核が所在する。
- ⑧多国籍企業の運営には不可欠な、先端技術を用いた高速テレコミュニケーションのインフラが整備されている。
- ⑨世界的に有名な学府や文化施設を擁する。  
例：パリのソルボンヌ大学やルーブル美術館、ニューヨークのコロンビア大学やメトロポリタン美術館など。
- ⑩アートシーンをリードするさまざまな媒体や受け皿となる施設がある。  
例：ニューヨークのブロードウェイ（演劇・ミュージカル）、リンクセンター（オペラ、バレエ、音楽）、ソーホー（アートギャラリー）、七番街（ファッション）、マディソン街（広告）など。
- ⑪世界的に有名で世界情勢に多大な影響力をもつ通信社が本拠を置く。  
例：ニューヨークの AP 通信、ロンドンのロイター通信、パリのフランス通信、東京の共同通信。
- ⑫幅広いスポーツコミュニティーが存在し、さまざまなスポーツ施設がある。またオリンピック、サッカーワールドカップ、世界陸上などの国際スポーツイベントを開催できる施設があり、過去にそうした大会を開催したことがある。

（出典：wikipedia(2009.1 時点)より要約）

**■ 用語の整理**

## 世界都市ランキング

世界都市のランキングとして、イギリスのラフバラ大学を中心とするグループ「グローバリゼーションと世界都市の研究グループおよびネットワーク」(GaWC)が行ったものがある。

ここでは、世界都市を「ポスト工業化生産拠点」と位置づけ、企業向けサービスと金融における革新性がグローバリゼーションに欠かせない要素をなしていると提唱。

4つの企業向けサービス（会計・広告・銀行・法律）各々について4つの中心地域から得られる情報の総体によって順位づけしている。具体的には4つの分野において首位中心地のスコアを3、主要中心地を2、マイナー中心地を1として、その総合計数に基きランキングを行っている。世界都市の概念は、特に「グローバル経済下での競争力、とりわけ国際金融センター やグローバル市場の司令塔としての役割」に注目しており、政治や文化的側面は抜け落ちているという特徴がある。

**■アルファ世界都市：あらゆる面が充実した包括的世界都市**

12：ロンドン、ニューヨーク、パリ、東京

11：（該当なし）

10：シカゴ、フランクフルト、香港、ロサンゼルス、ミラノ、シンガポール

**■ベータ世界都市：充実度が高い主要世界都市**

9：サンフランシスコ、シドニー、トロント、チューリッヒ

8：ブリュッセル、マドリード、メキシコシティ、サンパウロ

7：モスクワ、ソウル

**■ガンマ世界都市：二次的な存在の小規模な世界都市**

6：アムステルダム、ボストン、カラカス、ダラス、デュッセルドルフ、ジユネーブ、ヒューストン、ジャカルタ、ヨハネスブルグ、メルボルン、大阪、プラハ、サンティアゴ、台北、ワシントンD.C.

5：バンコク、北京、モントリオール、ローマ、ストックホルム、ワルシャワ

4：アトランタ、バルセロナ、ベルリン、ブダペスト、ブエノスアイレス、コペンハーゲン、ハンブルグ、イスタンブル、クアラルンプール、マニラ、マイアミ、ミネアポリス、ミュンヘン、上海

**■世界都市となりつつある傾向が顕著な都市**

3：アテネ、オークランド、ダブリン、ヘルシンキ、ルクセンブルク市、リヨン、ムンバイ、ニューデリー、フィラデルフィア、リオデジャネイロ、テルアビブ、ウィーン

2：アブダビ、アルマトイ、バーミンガム、ボゴタ、ブラチスラヴァ、ブリストン、ブカレスト、カイロ、クリーブランド、ケルン、デトロイト、ドバイ、ホーチミン市、キエフ、リマ、リスボン、マンチェスター、モンテビデオ、オスロ、リヤド、ロッテルダム、シアトル、ストラスブール、シトゥットガルト、ハーグ、バンクーバー

1：アデレード、アントウェルペン、オーフス、ボルティモア、バンガロール、ボローニャ、ブラジリア、カルガリー、ケープタウン、コロンボ、コロンバス、ドレスデン、エдинバラ、ジェノバ、グラスゴー、イエーテボリ、広州、ハノイ、カンザスシティ、リーズ、リール、マルセイユ、リッチモンド、サンクトペテルブルク、タシケント、テヘラン、ティアナ、トリノ、ユトレヒト、ウェリントン

… 都市圏人口ランキング 50 掲載の都市

(出典：wikipedia(2009.1 時点)より要約)

## 2) 創造都市

覇権(ヘグモニー)型、垂直的支配構造の「世界都市」の流れに対して、今後は水平的ネットワーク型の「創造都市」に移行していくという論が21世紀に入り盛んになっている。

### ■佐々木氏による「創造都市」

- ・大阪市立大学の佐々木雅幸教授によると、「創造都市」の定義は以下の通りである。

市民の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の革新的で柔軟な都市経済システムを備え、グローバルな環境問題や、あるいはローカルな地域社会の課題に対して、創造的問題解決を行えるような『創造の場』に富んだ都市。

- ・「創造都市」の概念はイギリスのシンクタンク「コメディア」の代表であるチャールズ・ランドリー氏が提唱しており、佐々木氏のHP (<http://www.creativecity.jp/>) では以下のような記載がある。彼（チャールズ・ランドリー）らは都市プランナーとしての自らの経験から「芸術文化のもつ創造性」に着目した理由として、第1に、脱工業化都市においてマルチメディアやフィルムや音楽、劇場などの文化産業が製造業に代わってダイナミックな成長性や雇用面での効果を示す点を挙げ、第2に、芸術文化が都市住民に対して問題解決に向けた創造的アイデアを刺激するなど多面的にインパクトを与えることを挙げて、「都市の創造性にとって大切なのは、経済、文化、組織、金融のあらゆる分野における創造的問題解決とその連鎖反応が次々と起きて既存のシステムを変化させる流動性である。」とも述べている。さらに、第3に、文化遺産と文化的伝統が人々に都市の歴史や記憶を呼び覚まし、グローバリゼーションの中にあっても都市のアイデンティティを確固たるものとし、未来への洞察力を高める素地を耕すとも述べている。創造とは単に新しい発明の連続であるのみならず、適切な「過去との対話」によって成し遂げられるのであり、「伝統と創造」は相互に影響し合うプロセスである。

### ■リチャード・フロリダ氏による「創造都市」

- ・アメリカの経済学者リチャード・フロリダ氏は著書「クリエイティブ資本論、新たな経済階級の台頭」の中で、直接的に「創造都市」という言葉を用いていないが、「各種のプロフェッショナルや芸術家・アーティストなどの「創造階級」が好んで居住し、経済的パフォーマンスが優れている都市や地域」が重要となると指摘している。

チャールズ・ランドリー氏は「創造都市へのアプローチ」として以下の4点を挙げている。(世界創造都市フォーラム2007にて 出典「価値を創る都市へ」佐々木雅幸他編)

- ①芸術家と彼らの活動を支える文化施設、つまり、創造的インフラストラクチャーとが一体となった「創造の場」があること
- ②市場性のある創造産業が発展し、それが既存産業の創造性を高めていること
- ③リチャード・フロリダ氏が定義する「創造階級」が多数居住し、科学者と芸術家とが協力し、日常生活をより豊かにしていること
- ④行政組織も含め、すべての市民が創造性を発揮することができ、また、エンパワーメントされる場であること

## ■ 用語の整理

### 3) 創造産業（クリエイティブ産業）、創造階級（クリエイティブクラス）

リチャード・フロリダ氏の創造都市の議論の中心となる、創造階級および創造産業の定義について整理しておきたい。

まず、イギリスでは創造産業という言葉が定義され、その育成が政策的に進められた。

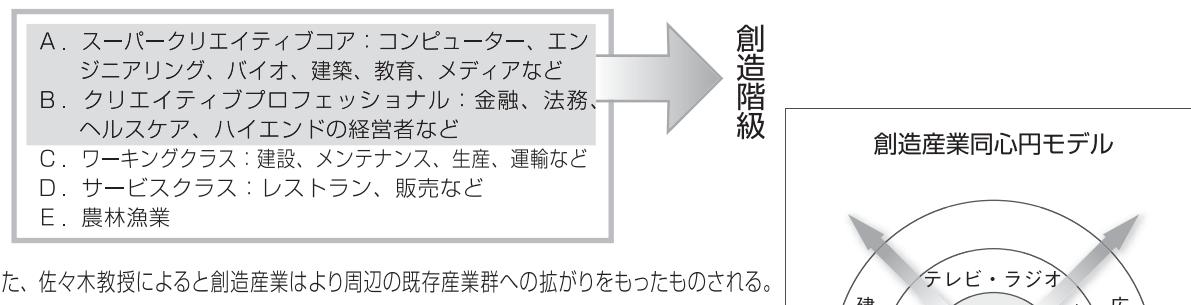
#### ■ イギリスにおける「創造産業」

- ・ 1997年ブレア首相誕生
- ・ 文化・メディア・スポーツ省 (DCMS) のクリス・スミス大臣のイニシアチブにより、「創造産業」の概念の整理と統計的定量化作業を実施
- ・ 「創造産業」=音楽、舞台芸術、映像・映画、デザイナー・ファッション、デザイン、クラフト、美術品・アンティーク市場、建築、テレビ・ラジオ、出版、広告、ゲームソフト、コンピュータソフトの13業種
- ・ 2000年時点で195万人の雇用を生み出し、GDPの7.9%を占める。
- ・ ロンドン市内の創造産業の比重高く、210億ポンドの生産額を上げ、ビジネス・サービス業(320億ポンド)に次いで第2位となっている。

次いで、アメリカにおいても創造産業が注目を集めることになった。

#### ■ アメリカにおける「創造産業・創造階級」

- ・ 2001年 ジャーナリストのジョン・ホーキンス著  
『The Creative Economy』出版
- ・ 「創造産業」=特許、著作権、商標、専売デザインなどの形で知的所有権を生産する産業  
研究開発(R&D)、出版、ソフトウェア、テレビ・ラジオ、デザイン、音楽、映画、玩具・ゲーム、広告、建築、舞台芸術、工芸、ビデオ・ゲーム、ファッション、美術品の15業種を中心的創造産業として析出。
- ・ 2002年 リチャード・フロリダ「クリエイティブ資本論」出版
- ・ 技術的創造性を発揮する科学者とエンジニアが1950年からの半世紀で62.5万人から約500万人へ、芸術的文化的創造性を発揮するプロの芸術家、作家、演技者のいわゆるボヘミアンが52.2万人から約250万人へと増加し、現代経済は基本的に創造経済に移行したと確認した上で、「創造階級」を析出



また、佐々木教授によると創造産業はより周辺の既存産業群への拡がりをもつものされる。

#### ■ 佐々木氏における「創造産業同心円モデル」(右図)

- ・ 中心に創造的アイデアを置き、放射線状にそのアイデアがより広い産業部門に拡散
- ・ 中心から周辺の既存産業群に向けて創造性が波及していくプロセスを念頭に置くと、営利性に乏しいが先端的な仕事に従事するアーティストやクリエーターが個人、また組織として自在に創造性を発揮できる条件が創造産業の発展には不可欠としている。



(出典：「価値を創る都市へ」)

## 4) メガリージョン

都市論の潮流の中で、単体の都市ではなく、郊外を含めたより広い都市圏に注目した概念が注目を集めている。

### ■ 都市地域圏(シティーリージョン)

関西学院大学加藤教授はシティーリージョンを次のように定義している。  
 「従来型のインフラ整備にとどまらず、環境、経済、社会、文化のバランスある発展を目標に、長期的に空間的(特に都市と農村の関係)調整を図る必要がある。これが都市地域圏空間戦略であり、これを推進するのが一體的な都市地域圏  
 さらに近年、メガリージョンという、シティーリージョンよりさらに広い都市圏に注目した概念が生まれている。

### ■ リチャード・フロリダ氏が定義する「メガリージョン」

- ・メガリージョンは、シティーリージョンが成長した結果として生まれた新しく自然な経済圏。21世紀は国家単位でなく、メガリージョンが世界経済のエンジンとしての役割を強めていくと主張。
- ・宇宙からの夜景に注目し、連続する光による都市域を一体化した都市圏として抽出している。



NASAが提供する宇宙からの夜景写真

(出典：[http://visibleearth.nasa.gov/view\\_rec.php?id=1438](http://visibleearth.nasa.gov/view_rec.php?id=1438))

### ■ 細川昌彦氏が定義する「メガリージョン」

- ・中核の大都市を中心として、半径 50 キロから 200 キロメートル圏内が一つの経済圏として有機的にネットワーク化しており、国際的に競争力のある地域
- ・大都市を中心とした一つの経済圏である都市地域がグローバルなプレイヤーとして発展したもの。
- ・「21世紀はメガリージョンの大競争時代」と提唱

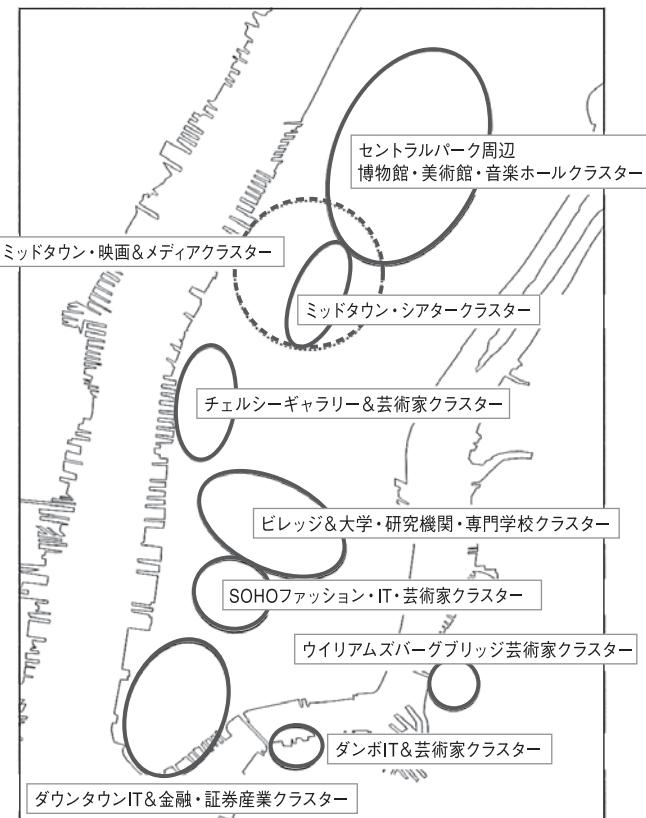
## 5) 創造クラスター

参考事例：ニューヨークの創造クラスター

世界都市ニューヨークは巨大な文化創造都市でもある。世界的に有名なブロードウェイやウォール街だけでなく、古い埠頭や倉庫街であった地区も様々な芸術文化創造系クラスターを形成し、ニューヨーク全体が創造産業クラスターの集合体として機能している。

創造産業クラスター	立地	特徴
メディア産業と ブロードウェイ 関連産業の集積	マンハッタンのミッドタウン西地区 常に観光客であふれているタイムズ・スクエアを中心としたエリア	メディア産業、映画関連産業 ブロードウェイ・ミュージカルなど50以上の劇場の集積 世界から観光客を集客する
博物館・美術館等の集積	マンハッタン中央のセントラルパーク南部地区 巨大な市民の憩いの場である公園を中心としたエリア	ニューヨークを代表する施設（リンカーンセンター、MOMA）などが集積 施設のほとんどは市が所有し、NPOが運営
芸術家たちの集積	ダウンタウンのソーホー地区やチャルシー地区 ブルックリン地区のダンボ地区 古い建物が集積した倉庫街や埠頭	古い建物を芸術家が利用することで発展 ソーホー・チャルシー地区は芸術家の街からファッションやITの街へと変化
ITや金融・証券業の集積	マンハッタン最南端のダウンタウン 国際金融拠点であるウォール街を中心としたエリア	IT産業最盛期の2000年頃にはシリコンアレーが形成される 90年代以降のオフィスの住宅への転換が進む
大学・専門学校などの集積	東西ビレッジ地区 歴史ある住宅街で公園やカフェなど生活インフラが充実	ニューヨーク大学、パーソンズ・スクール・オブ・デザイン、クーパーワニオン専門学校などが集積。 職員、学生含め7万人以上のコミュニティ

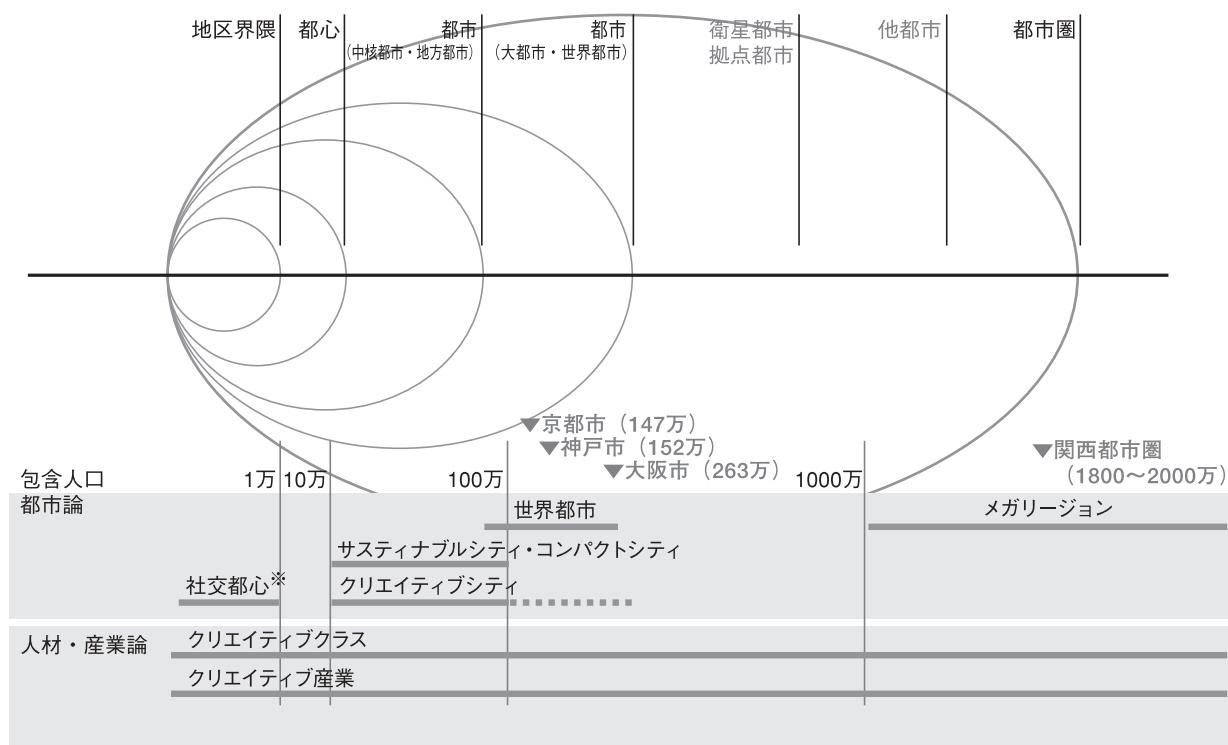
ニューヨークの創造産業クラスター分布



出典：「価値を創る都市へ 文化戦略と創造都市」 NTT出版

## 都市を検討するための最新都市論を整理

- 最新の都市論について規模を軸に整理する。



※『社交都心—21世紀版大阪の“都心の磁石”一』…財団法人関西社会経済研究所 2006年12月

## 大阪市、京都市、神戸市の各都市の都市政策比較

●関西を代表する3つの都市の現政策を整理する。

	大阪市	京都市	神戸市
施 策	元気アップ推進事業計画 (2008年10月)	京都文化芸術都市創生計画 (2007年3月)	神戸2010ビジョン 豊かさ創造 都市こうべ (2005年6月、2008年3月更新)
担 当	政策企画室企画部総合計画	文化市民局文化芸術都市推進室	企画調整局デザイン都市推進室
戦 略 ビ ジ ョ ン	大都市、そしていちばん住みたいまちへ	国家戦略としての京都創生 (総合企画局京都創生推進室)	創造都市戦略としての 「デザイン都市・神戸」
取 組 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「協働」をムーブメントに高めます</li> <li>・「元気な大阪」の基礎をつくります「経済力」「文化・観光力」「子どもの生きる力」「安全・快適な暮らし力」のアップ</li> <li>・「文化」「環境」のまちづくりを進めます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における文化芸術の定着</li> <li>・伝統の継承と新たな創造活動の支援</li> <li>・文化芸術の交流の促進</li> <li>・文化芸術環境の向上</li> <li>・学術・産業との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのデザイン：地域の個性を活用した魅力ある空間の形成</li> <li>・くらしのデザイン：市民がすぐれたデザインに出会い創造性を育むことにより、多様なライフスタイルを尊重</li> <li>・ものづくりのデザイン：付加価値の高いものづくりを応援。新たなマーケットを創造</li> </ul>
先導的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心機能整備エリア：質の高い暮らしや多様な魅力を体感できるエリアが連なる広がりと厚みを持つ都心への再生</li> <li>・「文化」と「環境」を基軸としたエリアを越えたまちづくりのムーブメント</li> <li>・「風の道」の展開（緑化、公園ネットワーク）</li> <li>・「海の御堂筋」構想（水を中心とした東西のシンボル軸）</li> <li>・「大阪パークフロントまちづくり」（オープンスペースを活用した魅力的な都市空間の創出）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・景観・観光三位一体の取組推進</li> <li>・文化芸術による魅力ある地域のまちづくりの推進</li> <li>・文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成</li> <li>・新たな文化芸術を創出する若き人材の育成</li> <li>・文化ボランティアなど市民参加による文化芸術都市づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディングエリアの形成</li> <li>・都心及びウォーターフロント</li> <li>・『デザイン都市・神戸』推進会議</li> <li>・クリエイティブ・シティ・ネットワークへの参画（08年10月16日 デザイン部門で認定）</li> </ul>
コ メ ン ト	・都市空間形成の方向性の中「創造性を發揮する交流空間の形成」が掲げられている	・従来型であるが、文化・景観・観光への取組について一貫性がある。	・創造都市の原理に近く、横浜型の施策
			・デザインにはプロダクトの切口も感じる

## **5 -ii.参考資料：**

---

世界のメガリージョン事例

## 5章-ii

参考資料：世界のメガリージョン事例

### ■ EU多核型メガリージョン例＝エレスンド、ランドstatt

## 関西圏の全体構造の目標⇒EUタイプの多核型メガリージョン

### 1) エレスンド地域：2国にまたがるシティ・リージョンで産学の地域間連携を強化

- ・コペンハーゲン（デンマーク）とマルメ（スウェーデン）が欧州最長の橋スンド・リンクで結ばれており、2万km<sup>2</sup>、360万人都市圏を形成。
- ・欧州内における都市間競争の危機感の中、トランスナショナルな地域連携を実行し新たな発展モデルを提示。文化イベントなど共同開催。
- ・都市間交渉の結果、域内競争を抑制し、調整と連携で得られた空間バランスを対外的な競争力とする。
- ・医薬分野の域内ネットワークや両国12大学が連携によりメディコンバレーを形成。医薬産業研究分野で高いレベルを誇る（北欧の製薬産業の6割が集中）。
- ・コペンハーゲンでの雇用、マルメでの居住という役割が形成されつつある。





ØRESUND

ロゴマーク



スンド・リンク（全長16km）



王立図書館（コペンハーゲン  
文化施設も多い



超高層住宅（マルメ）

※ロゴ・写真はいずれも<http://www.oresundsregionen.org>より

### 2) ランドstatt地域：多核型シティ・リージョンで域内調整し、サステイナビリティと競争力を追求

- ・アムステルダム（首都、商都）、デン・ハーグ（行政中心）、ロッテルダム（港湾）、ユトレヒト（鉄道網の拠点、サービス）の4つの主要都市で直径100km圏、人口600万人の都市圏を構成
- ・中心に位置するグリーンハートは保全された緑地
- ・ヨーロッパにおいて重要なハブ空港となっているスキポール空港と、欧州最大の貿易港であるユーロポートを核として、高速道路網や鉄道網が整備
- ・4都市及び周辺4地域自治体が2002年にランドstatt評議会を設立。国土計画、経済・社会分野で多角的に分析、域内政策調整、戦略的な長期展望を作成。





ランドstatt評議会ロゴマーク

※ロゴ<http://www.regio-randstad.nl>より



欧洲のハブ空港：スキポール空港

※<http://ja.wikipedia.org>より



グリーンハート

※[http://cycling.skedaddle.co.uk/holiday/Cycling\\_Holidays/Holland\\_The\\_Green\\_Heart\\_of\\_Holland\\_Cycling\\_Holiday/63/view.rails](http://cycling.skedaddle.co.uk/holiday/Cycling_Holidays/Holland_The_Green_Heart_of_Holland_Cycling_Holiday/63/view.rails)より

## クリエイティブクラス、クリエイティブ産業が集積するシリコンバレー

### ●シリコンバレー：クリエイティブクラスの集積をもたらす大学、温暖な気候、オープンかつ協力的な環境

- ・カリフォルニア州北部、サンフランシスコ・ベイエリア南部に位置。
- ・シリコンバレーという都市は存在せず、マウンテンビュー、サニーベール、サンタクララの3つの市を中心とする複数の都市で形成されている。
- ・スタンフォード大学の役割は大きく、出身技術者がヒューレット・パッカードなどのエレクトロニクス、コンピュータ企業を設立し、大学の敷地をスタンフォード・インダストリアル・パークとして新技术の会社を誘致したのが始まりともいわれている。
- ・1960～70年代にかけては、インテルをはじめとする多くの半導体企業が生まれたことから「シリコンバレー」と呼ばれる。
- ・主要な先端技術企業はシリコンバレー内に本拠地を置く
- ・グーグル、アップル、ヤフー、ヒューレット・パッカード、インテル、シスコ
- ・フロリダの「クリエイティブ資本論」ではクリエイティブ指標でアメリカ国内第1位の地域（1999年時点）
- ・フロリダはシリコンバレーが特別な場所である理由を「スタンフォード大学があるからでも、気候が温暖だからでもない。クリエイティブで異質な、正真正銘の変人に対してオープンであり、協力的な環境があったからこそ」と述べている。（クリエイティブ資本論）



ヒューレット・パッカード  
が生まれたガレージ

※Wikipediaより



スティーブ・ジョブズ

※「パソコン革命の英雄たち」より



グーグル本社

※[http://officedesigning.blogspot.com/2007\\_05\\_01\\_archive.html](http://officedesigning.blogspot.com/2007_05_01_archive.html)より

- ・ジョイント・ベンチャー・シリコンバレー・ネットワーク（半官半民のNPO）が1992年に設立
- ・ビジネス界と行政によるパートナーシップ組織。教育、交通、住宅など、企業を超える地域全体の問題に協力して取り組む。さらに、対外的には地域全体のマーケティングにも取り組む。

A screenshot of the Joint Venture Silicon Valley Network website from 2008. The page features a yellow sunburst logo and sections titled "Analysis" and "Action". It includes a photo of two men and a section titled "Building the Next Silicon Valley".



ジョイント・ベンチャー・シリコンバレー・ネットワーク・ロゴ

※<http://www.jointventure.org/>より

HPで各種データを紹介（2008年版）

## 突出した先進都市が都市圏の成長をリードする中国メガリージョン

### ● 人口、面積で圧倒的な規模を誇るが、環境問題や貧富格差など集積の不経済を伴う可能性を有する

- ・三大メガリージョンで中国のGDPの40%、輸出の80%を占めている。
- ・外資系企業の進出が経済発展の重要な要素になっている。
- ・3地域は各々ライバル視し、企業誘致や産業開発で熾烈な競争をしている。
- ・「世界の工場」からイノベーションとクリエイティビティの中心へと急成長している。
- ・国家戦略としての人材戦略を持ち、質の高い人材流入の受け皿になっている。



「週間ダイヤモンド2008/05/03・10合併号」より



## 開放性と国際性の高い都市国家 シンガポール

### ●シンガポール：200万人移民政策で頭脳大国を目指すため、観光に加えて産業でもテーマパーク化

(「週間ダイヤモンド 2008.05.31」、「東洋経済 2008.03.22」)

- ・シンガポールは淡路島や東京23区ほどの面積。資源もなく、出席率も低下。地位の低下に危機感。
- ・外資系企業のアジア地域のHQ(ヘッドクオーター)を誘致することを国家戦略にする
- ・一流大学や高度専門人材(研究職など理系人材、MBAホルダー)を20年で200万人移民(現在の人口は450万人)
- ・国家戦略のもう一つは観光業の活性化(マリーナベイエリア延べ床57万m<sup>2</sup>とセントーサ島34万m<sup>2</sup>)で大規模なカジノを含む開発を実施。今年から、史上初の夜間F1レースが開催



高級総合リゾート(2009)  
「ザ・マリーナ・ベイ・サンズ」

ユニバーサルスタジオ  
シンガポール他(2010)  
「リゾート・ワールド・セントーサ」  
※上記図いずれも  
<http://www.stb.or.jp/news/index02.html>より

史上初のF1夜間レース  
マリーナ地区の市街地で実施  
(2008年9月26日)  
※コース図[http://www.singaporegp.sg/about/track\\_info.php](http://www.singaporegp.sg/about/track_info.php)より

- ・現在、国家を挙げて注力するのがバイオ産業
- ・「バイオポリス」⇒バイオ研究企業の集積地として30ヘクタールの大型施設を用意
- ・超一流の研究者を一本釣り 元京大伊藤教授(分子細胞生物学)など
- ・「フュージョンポリス」⇒実用的研究基盤。自然科学や工学技術の「象徴」施設